

文化・生涯学習振興についてのアンケート

実施概要

担当部局	実施期間	対象者数	回答者数	回答率
文化振興課	2018年08月10日から 2018年08月24日まで	1146	825	71%

今回は、環境生活部文化振興課からのお願いです。

県では、「新しいみえの文化振興方針」（平成26年11月策定）に基づき、「文化にふれ親しみ、創造する機会の充実」と「学びとその成果を生かす場の充実」に取り組んでいます。

今後の「新しいみえの文化振興方針」の推進にあたっての参考意見とするとともに、その評価に役立てるため、アンケートを実施します。

ご協力よろしく申し上げます。

■ Q1 これまで行ったことのある県立文化施設について

つぎの県立文化施設のうち、あなたがこれまでに行ったことのある施設はどれですか。あてはまるものをすべて選んでください。「行ったことのある施設はない」とお答えいただいた方はQ3へお進みください。

合計	825	
三重県文化会館	514	62.3%
三重県立図書館	301	36.5%
三重県総合博物館（MieMu）	309	37.5%
三重県立美術館	326	39.5%
斎宮歴史博物館	227	27.5%
三重県生涯学習センター	156	18.9%
行ったことのある施設はない	157	19.0%

■ Q2 県立文化施設に行った回数について

あなたは、昨年1年間で展覧会や公演、イベント等のため、県立文化施設に何回ぐらい行きましたか。あてはまるものを1つ選んでください。

なお、県立文化施設とはQ1の選択肢で掲げた施設をいいます。

合計	668	
1回も行っていない	265	39.7%
1回	154	23.1%
2～5回	200	29.9%
6～9回	19	2.8%
10回以上	30	4.5%

■ Q3 県立文化施設において文化芸術にふれたり、学んだりする機会について

あなたは、県立文化施設で開催される展覧会や公演、イベント等において、優れた文化芸術（芸術性の高いもの、おもしろくて楽しいもの）にふれたり、学んだりする機会を得ることができていると感じていますか。あてはま

るものを1つ選んでください。

合計	825	
感じている	383	46.4%
感じていない	133	16.1%
わからない	309	37.5%

■ Q4 文化芸術にふれ親しむ方法について

あなたが日常生活で文化芸術にふれ親しむ方法として、最も近い行動はどれですか。あてはまるものを1つ選んでください。

合計	825	
主に文化芸術の鑑賞を行っている	418	50.7%
主に文化芸術に関する活動を行っている	21	2.5%
鑑賞、活動のどちらもを行っている	45	5.5%
鑑賞、活動のどちらも行ってない	238	28.8%
わからない	103	12.5%

■ Q5 鑑賞した文化芸術のジャンルについて

昨年1年間にあなたが鑑賞した文化芸術のジャンルは何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

合計	825	
音楽	346	41.9%
美術	282	34.2%
写真	117	14.2%
演劇	95	11.5%
舞踊	16	1.9%
メディア芸術（映画、漫画、アニメーション等）	246	29.8%
伝統芸能（雅楽、能楽、文楽、歌舞伎等）	41	5.0%
芸能（講談、落語、浪曲、漫談、漫才、歌唱等）	106	12.8%
生活文化（茶道、華道、書道等）	79	9.6%
地域の伝統的芸能や祭り	143	17.3%
その他	11	1.3%
鑑賞していない	184	22.3%

■ Q6 活動した文化芸術のジャンルについて

昨年1年間にあなたが活動した文化芸術のジャンルは何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

合計	825	
音楽	87	10.5%
美術	42	5.1%
写真	54	6.5%
演劇	13	1.6%
舞踊	5	0.6%
メディア芸術（映画、漫画、アニメーション等）	34	4.1%
伝統芸能（雅楽、能楽、文楽、歌舞伎等）	5	0.6%
芸能（講談、落語、浪曲、漫談、漫才、歌唱等）	16	1.9%
生活文化（茶道、華道、書道等）	32	3.9%
地域の伝統的芸能や祭り	40	4.8%
その他	8	1.0%
活動していない	592	71.8%

■ Q7 三重県の文化の特徴だと思うものについて

あなたが三重県の文化の特徴だと思うものはどれですか。あてはまるものを3つまで選んでください。

合計	825	
伝統的な行事や祭り、芸能、民芸などの文化を守り伝えている	429	52.0%
固有の歴史文化や古い建物、遺産などを保存・活用している	411	49.8%
食文化が豊かである	357	43.3%
本居宣長（国学者）、松尾芭蕉（俳人）、松浦武四郎（北海道の命名者）をはじめ、多くの偉人を輩出している	309	37.5%
最先端技術を用いた各種アートやメディア芸術（映画、漫画、アニメーション等）が盛んである	14	1.7%
国際的な文化交流が盛んである	17	2.1%
質の高い文化芸術を楽しむことができる	14	1.7%
その他	4	0.5%
特にない	98	11.9%

■ Q8 三重県に対する誇りや愛着について

あなたは、三重県には全国的あるいは国際的に誇ることができる歴史的資産等（※）があり、愛着を感じることができると思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。

※「歴史的資産等」・・・伊勢神宮や熊野古道、世界から評価される偉人（俳聖「松尾芭蕉」、日本人の世界観・価値観を探求した「本居宣長」、世界で初めて真珠養殖を成功させた「御木本幸吉」など）のほか、各地域で継承されている伝統的な芸能・祭り・行事や文化財などの歴史的な資産、地域独特の言葉遣いや衣服、食べ物、習慣などをいいます。

合計	825	
そう思う	333	40.4%
どちらかといえばそう思う	387	46.9%
どちらかといえばそう思わない	75	9.1%
そう思わない	30	3.6%

■ Q9 今後、県が力を入れるべき文化施策について

あなたは、県は今後どのような文化振興施策に力を入れるべきだと思いますか。あてはまるものを2つまで選んでください。

※選択肢内の文化交流ゾーンとは、三重県総合博物館の整備を契機として、新たに魅力あふれる「県民の学び・交流・体験の場」となるよう発展を目指す県立美術館を含めた県総合文化センター周辺地域のことです。

合計	825	
県出身者が著名なアーティストとして県内外で活躍できるような環境を整備すること	109	13.2%
多くの県民が日常的に文化にふれ親しむことができるような機会を提供すること	310	37.6%
次代を担う若い世代の創造性や感性を育むこと	178	21.6%
地域の伝統的文化が継承され、より多くの人に親しまれるようにすること	221	26.8%
文化財が適切に保存・継承されるとともに、地域において活用されるようにすること	180	21.8%
より多くの人を訪れて、さまざまな交流が生まれ、にぎわうよう、文化交流ゾーン（※）の魅力を一層高めること	115	13.9%
文化資源を活用することにより、教育・産業・観光などの魅力を一層高めること	96	11.6%
県内外の文化施設と連携することにより、県立の文化施設の魅力を一層高めること	41	5.0%
三重の文化の素晴らしさを県内外に積極的に発信すること	177	21.5%
その他	12	1.5%
わからない	31	3.8%

■ Q10 文化芸術を生かしたら良いと思う分野について

あなたは、文化芸術をどのような分野に生かしたら良いと思いますか。あてはまるものを3つまで選んでください。

合計	825	
観光	594	72.0%
まちづくり（地域の活性化）	496	60.1%
国際交流	182	22.1%
福祉	72	8.7%
教育	267	32.4%
子育て	132	16.0%
経済・産業	158	19.2%
スポーツ・健康増進	68	8.2%
その他	8	1.0%
わからない	26	3.2%

各ページの記載記事、写真の無断転載を禁じます。
All Rights Reserved, Copyright(C)2006.Mie Prefecture